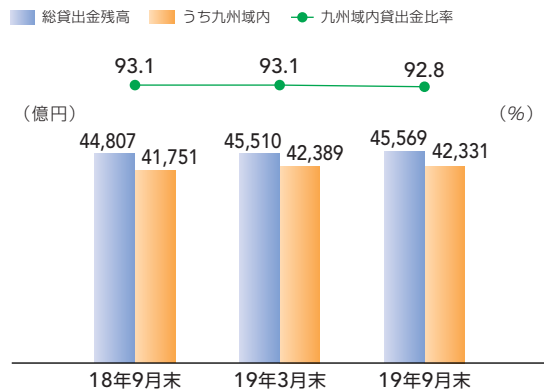


当行は、地域に根ざした金融機関として、地域に貢献し、積極的にCSR（企業の社会的責任）活動に取り組むことにより、広く信頼される銀行であることをめざしております。

地元九州のお客さまへの貸出・預金・各種機能サービス等の提供により皆さまのお役に立つという、地域金融機関の本業を通じた地域貢献を行っております。

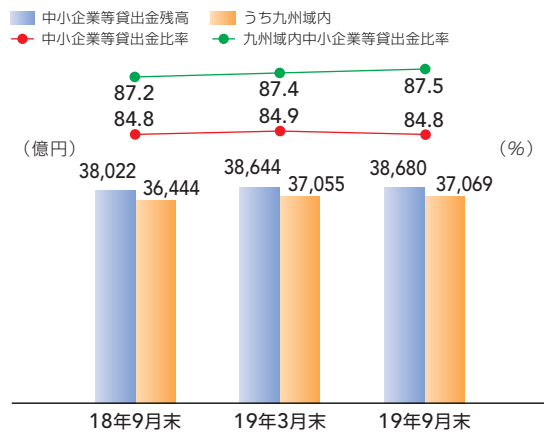
貸出金の状況 (平成19年9月末現在)

● 貸出金



貸出金につきましては、お客さまの様々な資金ニーズにお応えしてまいりました結果、平成19年3月末比59億円増加し、平成19年9月末現在4兆5,569億円となりました。このうち、九州域内における貸出金は4兆2,331億円で、総貸出金に対して92.8%と高いシェアを占めております。

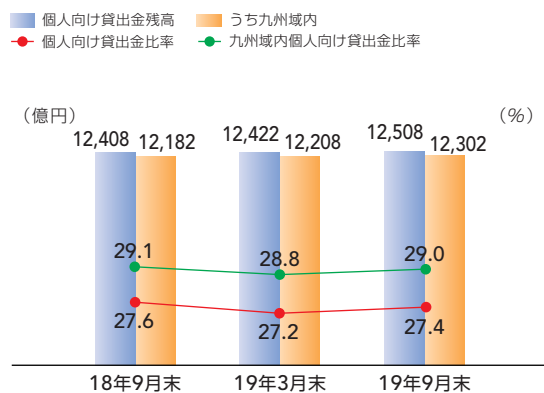
● 中小企業等貸出金



中小企業等貸出金は、平成19年9月末現在3兆8,680億円で、総貸出金に対して84.8%と高いシェアを占めております。このうち、九州域内は3兆7,069億円で、九州域内中小企業等貸出金比率は87.5%と高いシェアを占めております。

また、中小企業等貸出の先数は、平成19年9月末現在40万5千件で、このうち、九州域内の中小企業等貸出の先数は39万8千件と多くのお客さまにご利用いただいております。

● 個人向け貸出金

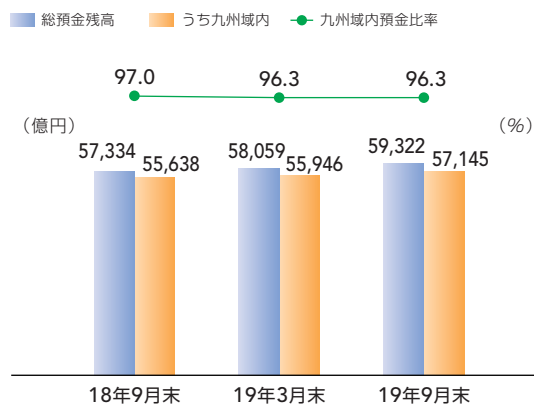


個人向け貸出金は、平成19年9月末現在1兆2,508億円で、総貸出金に対して27.4%を占めております。このうち、九州域内は1兆2,302億円で、九州域内の個人向け貸出金比率は29.0%を占めております。

また、個人向け貸出件数は、平成19年9月末現在33万9千件で、このうち、九州域内の個人向け貸出件数は33万4千件と多くのお客さまにご利用いただいております。

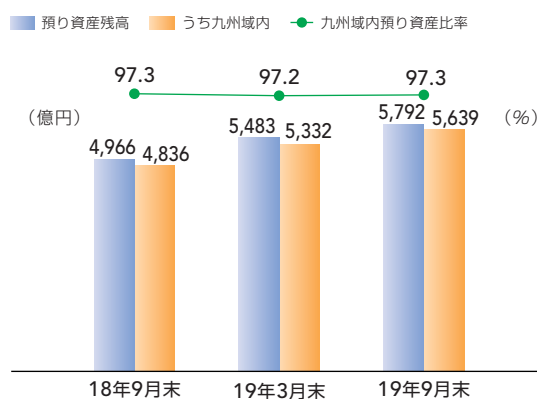
預金・預り資産の状況 (平成19年9月末現在)

● 預金 (譲渡性預金を含む)



譲渡性預金を含む預金につきましては、平成19年3月末比1,263億円増加し、平成19年9月末現在5兆9,322億円となりました。このうち、九州域内の預金は5兆7,145億円で、全体の96.3%と高いシェアを占めております。

● 預り資産 (投資信託・個人年金保険)



預り資産残高は、平成19年3月末比309億円増加し、平成19年9月末現在5,792億円となりました。このうち、九州域内は5,639億円で全体の97.3%と高いシェアを占めております。

※預り資産残高=投資信託残高+個人年金保険販売累計額

決済サービスの状況

平成19年9月末現在、当行預金口座への給与振込指定件数731,654件、年金受取指定件数325,846件、公共料金(電気・電話・NHK)自動振替契約件数1,513,715件となっており、地域のお客さまの生活口座として数多くご利用いただいております。

お客さまの利便性向上のため、インターネットバンキングを利用して、振込等の資金移動の他、公共料金自動振替のお申し込み受付や税金・各種料金の払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」等のサービスもご提供しており、ダイレクトチャネルを活用した決済機能の充実にも取り組んでおります。

資産形成のサポート

お客さまの資産形成をサポートするため、当行では、資産運用商品のラインナップを充実させております。

体制面では、本店および福岡県内の各地区に高度な専門知識とノウハウを持ったファイナンシャルアドバイザー(FA)を配置し、お客さまのニーズに対応いたしております。また、最寄りの営業店ではチーフマネーアドバイザー(CMA)を中心とした専門スタッフが個別にご相談に応じております。

地元企業への経営サポート

地域経済の活性化への支援体制や、アジアとの経済活動が活発化する中での国際化ニーズへの支援体制など、地元企業の皆さまのさまざまな経営課題に対するサポート体制を整えております。

■ 地域経済活性化への取り組み

● 「日本SME格付け」サービス取次ぎ業務

世界的な格付機関であるスタンダード&プアーズ（S&P）社による、日本の中堅・中小企業を対象とした「日本SME格付け」サービスの取次ぎを行っております。年商10億円から100億円までの未上場企業が対象で、「日本SME格付け」を取得することにより、財務状態の確認、販路開拓・企業連携、人材採用の効率化などの経営課題への効果が期待できます。

平成19年9月末現在での「日本SME格付け」取次ぎ実績は14件です。国内の取次ぎ金融機関でNo.1の取次ぎ実績となりました。

● ビジネスマッチング：商談会

お取引先への経営情報提供・販路拡大策の一環として、著名な企業との商談会を開催し、地域色豊かな食材、こだわりの一品、地方ブランド品などの商談のお手伝いをしております。食材に限らず、パワーセンターのテナント紹介なども行っており、お客さま同士のビジネスの拡大に役立てていただいております。

〈最近の開催例〉			〈過去の開催実績〉	
開催時期	商談先	参加企業数	開催年度	参加企業数
19年4月	百貨店	35	15年	86
19年5月	ディスカウントストア	21	16年	20
19年7月	ショッピングセンターのテナント	22	17年	112
19年9月	コンビニエンスストア	13	18年	131
	(合計91社)		19年上半期	91
			(合計440社)	



商談会

● 事業承継セミナー

中小企業経営者の高齢化進展、後継者問題を背景とした事業承継対策の重要性に着目し、地域金融機関として取引先支援を目的とした「事業承継セミナー」を独立行政法人中小企業基盤整備機構等との連携により随時開催しております。

親族間承継からM&A等外部譲渡の基礎知識、及び会社法・相続法の知識と活用法等に至るまでわかりやすく解説いたします。

〈最近の開催例〉	
19年6月	「計画的な事業承継のために」
19年7月	「事業承継啓発セミナー」
19年9月	「中小企業の円滑な事業承継のための手引き」



事業承継セミナー

■ 国際化ニーズへの取り組み

● 海外ネットワーク営業

香港・上海・ソウルの各駐在員事務所が、貿易のための現地の業者及び商品のご紹介や、海外進出のための現地情報のご提供など、皆さまの海外でのビジネスをサポートいたします。

また、本店の「国際営業室」がお客さまの海外でのお取引や、海外進出についてのご相談に対して実務に即したご説明とアドバイスをいたします。

● 定期刊行物・情報誌・ホームページ

NCB海外駐在員ニュース

海外駐在員事務所による現地情報を4半期ごとにお届けしております。

NCB為替インフォメーション

外国為替相場の推移等についての情報をお届けしております。

アジアインフォメーション（ホームページ）

「NCB海外駐在員ニュース」「NCB為替インフォメーション」「商談会・セミナー情報」を当行ホームページ上でお届けしております。



社会・文化貢献活動

当行では、地元金融機関として、地域経済活性化のための活動に加えて、地元の歴史や文化への貢献も重要な活動のひとつと考え、さまざまな活動を行っております。

経営者賞

昭和47年に設立した「(財)九州・山口地域経済貢献者顕彰財団」では、地域経済の発展に特に優れた功績を上げている中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しております。財団設立以来の受賞者は131名で、受賞企業のうち26社が上場または店頭公開を果されています。



第34回経営者賞

アジア貢献賞・アジアKids大賞

昭和60年に設立した「(財)西日本国際財団」では、アジア諸国との国際文化交流事業を推進し、国際相互理解の促進と国際的人材の育成に努めております。平成11年には「アジア貢献賞」を創設し、毎年、九州・山口地域においてアジアとの国際交流に貢献している団体・個人を表彰しております。また、財団設立20周年を記念して平成17年より「アジアKids大賞」を創設し、アジアとの国際交流に貢献している学校等を表彰しております。



第8回アジア貢献賞

「お金のがっこう」の開催～金融教育活動～

平成19年8月に小学生を対象としたキッズサマーキャンプ「お金のがっこう」を開催し、行内施設見学やクイズを交えて、楽しみながら子どもたちにお金について学んでもらう機会を設けました。子どもの頃から、お金の大切さや経済のしくみ・銀行の役割を知ることを通じて、社会のことや将来のことを考える力を養う金融教育が大切となってきています。当行では、これからも金融教育活動を行ってまいります。



キッズサマーキャンプ「お金のがっこう」

プロムナードコンサート・ふれあいライブ

昭和60年に設立した「(財)福岡文化財団」が毎月本店で開催しております「プロムナードコンサート」は、地域の皆さまに親しまれ、公演回数は平成20年1月で265回となりました。当行のイベントでの演奏や小学校への出張コンサートも実施しております。

また、「ふれあいライブ」は、子どもたちに本物の音楽や芸術パフォーマンスを身近に感じてほしいとの願いをこめて、同財団が平成17年から開催しています。プロムナードコンサートのメンバーやパフォーマーが福岡市内の小学校に出張しており、すでに20校以上を訪問し、子ども達に大変喜ばれています。



ふれあいライブ

「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」シリーズ

地元の歴史や身近な人物を広く紹介した小冊子を継続して発行しております。

昭和54年に開始したこのシリーズはすでに93号を迎えました。最新刊は「西鉄ライオンズ～栄光の野武士軍団」(お話：稲尾和久氏)です。小冊子は店頭で無料配布しているほか、一部は当行ホームページに全文を掲載しております。



ミュージカルへの支援

文化芸術活動支援の一環として、「マンマ・ミーア!」や「ライオンキング」等、数々の劇団四季ミュージカル作品を協賛サポートしております。また、平成19年3月には親子100組を「夢から醒めた夢」にご招待しました。



© Disney

ユニセフ活動

昭和45年に当行本店内に「日本ユニセフ協会九州本部」が設立されて以来、当行は、各種イベントの開催、街頭募金等の活動を通じて世界の恵まれない子どもたちを援助するユニセフ活動を支援しております。



ユニセフ

● 地域の皆さまとともに
社会への文化貢献活動

トピックス

新韓銀行との提携

平成19年9月5日、当行は、韓国第2の規模を誇る新韓銀行と業務協力することで合意しました。新韓銀行は、福岡に支店を置く唯一の韓国の金融機関であり、当行は、ソウルに駐在員事務所を置く唯一の地方銀行です。今回の合意に基づき、韓国向け円建て送金と両替用韓国ウォンの購入において業務提携を行いました。両行は今後も、国際業務における金融サービス機能向上に努め、日韓の経済発展に寄与してまいります。



新韓銀行との調印式

「責任財産限定特約付きアパートローン」の取扱い開始

平成19年6月に、「責任財産限定特約付きアパートローン」の取扱いを開始しました。原則として、ご返済を融資対象物件からの家賃収入と融資対象物件に限定し、また、当行が回収された家賃から返済金・余剰金の振り分けまで行いお客さまの資金管理の負担を軽減することなどにより、安心してアパート経営を行っていただくことができる新しいタイプのアパートローンです。

全営業店への福祉関連機器の設置

平成19年9月に、聴覚や視覚に不安のある方等にも気軽に安心して当行窓口をご利用いただけるよう、簡易筆談器、耳マーク（表示板）、携帯助聴器を全店に設置いたしました。また、視覚障害者対応ATMの設置を順次進めており、平成20年3月までに全店に設置予定です。



視覚障害者対応ATM

リサ・パートナーズ・グループとの業務提携

平成19年8月に、お客さまへ付加価値の高いソリューションを提供するため、企業再生をはじめとする投資銀行機能に定評のあるリサ・パートナーズ・グループと業務提携をいたしました。併せて、ソリューション提供による企業価値向上を目的とした九州特化型ファンド「九州コーポレート・ソリューション・ファンド」を組成いたしました。

「九州ブリッジファンド」を活用した第1号案件への取組み

平成19年5月に、事業承継問題を抱える九州の中小企業支援を目的として、九州の有力地銀とともに事業承継ファンド「九州ブリッジファンド」を設立いたしました。また、平成19年10月には第1号案件として、同ファンドが福岡県の企業のEBO*による事業承継に対し、メインスポンサーとして出資するとともに、当行は事業継続のための資金について協調融資を実施いたしました。

* EBO：従業員がファンド等と協力し自社を買収、株主兼従業員として会社を存続させるもの。

経済講演会の開催

平成19年11月に、世界の金融経済情勢をテーマとした地元企業経営者向けの講演会を開催いたしました。今後も地域の皆さま向けに、地域経済の活性化のお役に立つような、最新の経済情報をさまざまなかたちでお届けいたします。



経済講演会

「アジアユースオーケストラ」福岡公演協賛

平成19年8月に、アジア各国から選ばれた音楽を志す若者100名で構成された「アジアユースオーケストラ」の福岡公演が開催されました。当行は公演に協賛し、また、当行関連財団である（財）福岡文化財団および（財）西日本国際財団とともに、一般の方100組200名を公演にご招待しました。